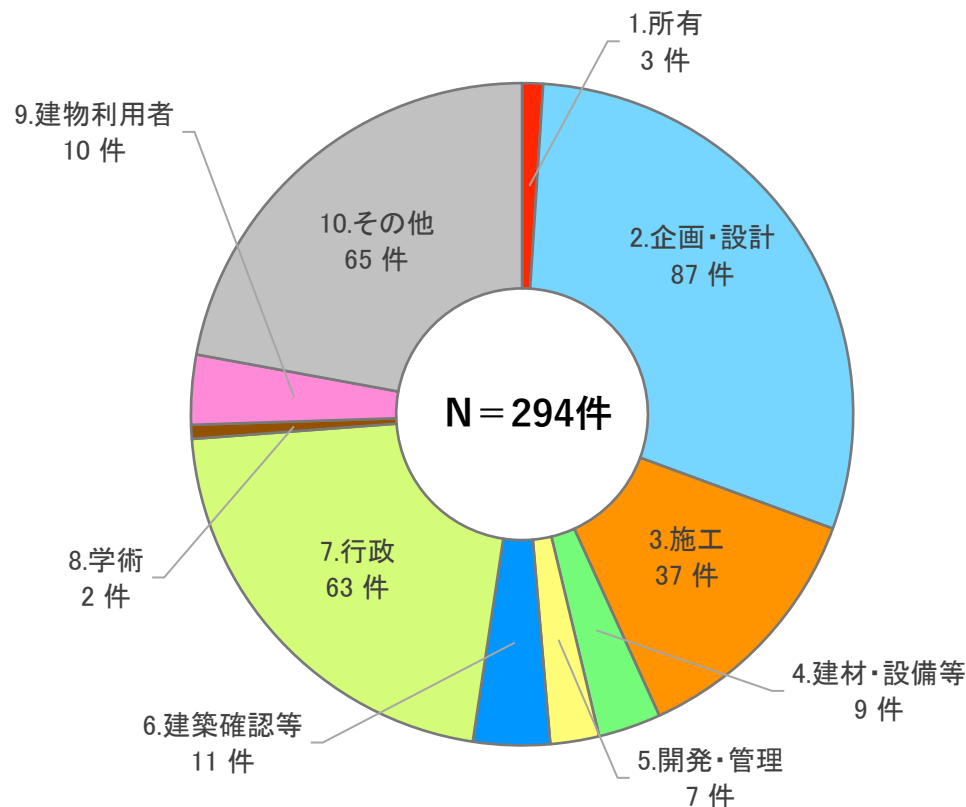


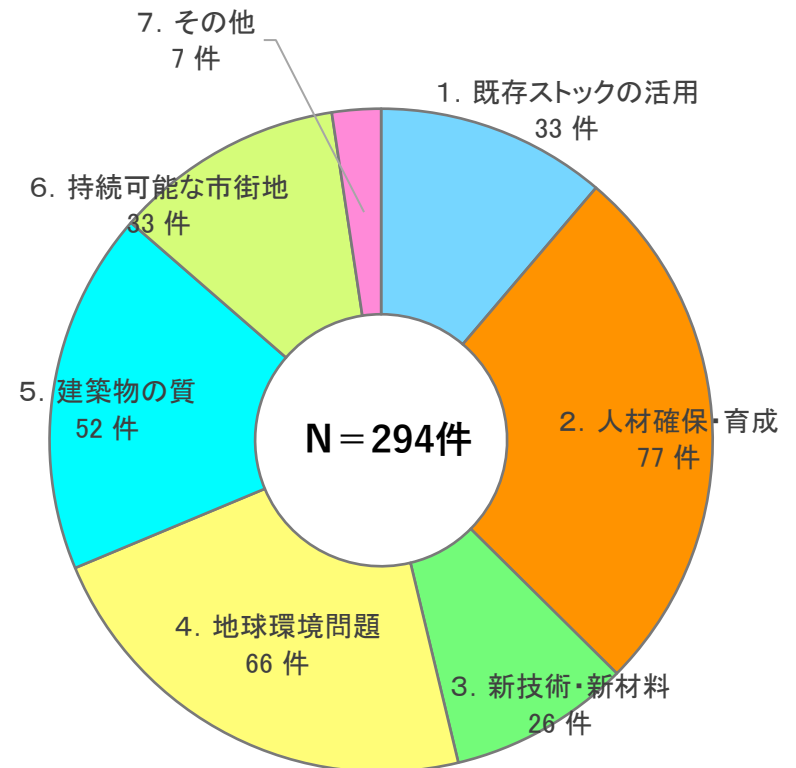
意見箱へのご意見

- ご意見をお寄せいただいた方の属性については、「企画・設計」関連の属性が最も多く87件、次いで「行政」が63件、「施工」が37件となった。（属性が不明な「その他」を除く。）
- いただいたご意見については、提示していた各分野について大きな偏りはなかったが、「人材確保・育成（77件）」、「地球環境問題（66件）」に関するご意見が比較的多かった。

回答者の属性



いただいた意見の分類



	分類	テーマ	ご意見の内容	件数
01	既存ストック	建物の長期活用・維持保全	既存建物の価値を見極め、適切な維持管理・修繕・改修による長期活用を重視し、安易な建替えや解体を避けることを求める意見。	5
02	既存ストック	既存建物の改修・用途変更に係る規制の合理化	既存建物の改修・用途変更に際し、必要な安全性を確保しつつ、既存不適格建築物に関する規定の適用や建築確認手続を、建物の状況に応じて合理化することを求める意見。	4
03	既存ストック	歴史的・文化的建築の継承・活用	歴史的・文化的価値を持つ建物や近現代建築の継承・活用に向け、価値評価の仕組み、制度上の特例、関係省庁の連携の充実を求める意見。	7
04	既存ストック	性能・履歴・価値の見える化と継続評価	建物の性能、点検・改修履歴、将来の維持管理負担等を継続的に把握・評価し、所有・利用・取引の判断に役立てられる仕組みを求める意見。	8
05	既存ストック	既存建物の改修・修繕への支援	既存建物の修繕・改修や長寿命化について、小規模工事も含めた資金面・制度面の支援の充実を求める意見。	1
06	既存ストック	所有者の主体性・情報提供・契約の適正化	所有者が建物の価値やリスク、工事・管理契約の内容を十分に理解し、専門家の支援を得ながらも主体的に判断できる環境の整備を求める意見。	7
07	既存ストック	段階的改修・既存設備の更新を可能にする仕組み	既存建物の制約を踏まえ、安全性を確保しながら、部分的・段階的な改修や老朽設備の更新を円滑に行える仕組みの整備を求める意見。	4
08	既存ストック	新築・解体を前提とした制度・慣行の見直し	新築・建替えを促す税制や開発・解体に関する制度・慣行について、既存建物の活用可能性や環境負荷を踏まえた見直しを求める意見。	3
09	担い手	技能者の確保・処遇・就労環境	施工・維持管理を担う技能者の減少に対応するには、賃金、労働時間、安全性、職場環境の改善と人材確保が重要との指摘。	5
10	担い手	伝統技能・職人技術の継承と育成支援	大工等の職人技術や地域固有の技能を継承するため、若手の育成期間を支える費用補助、訓練の場、技能継承の仕組みの充実を求める意見。	7
11	担い手	子ども・一般社会への建築教育と職業理解	建築の仕事や木材・ものづくりに触れる教育・体験機会を増やし、子どもや一般の人々の理解と将来の担い手の裾野を広げる取組みを求める意見。	3

	分類	テーマ	ご意見の内容	件数
12	担い手	建築士・審査資格等の取得・登録要件の見直し	建築士、管理建築士、建築基準適合判定資格者等の資格取得・登録、実務経験要件や講習のあり方について、能力確保と担い手拡大の両面から見直しを求める意見。	12
13	担い手	専門人材の継続教育・高度化と職域拡大	既存建物の再生、木造化、デジタル技術、経営・不動産などに対応できる専門人材の教育・研修と能力向上への支援を求める意見。	9
14	担い手	異業種参入・転職・外国人材等の受入れ	建築分野への転職、異業種からの参入、新たな事業主体や外国人材の受入れを支え、多様な人材が活躍できる環境の整備を求める意見。	5
15	担い手	適正な工期・取引・費用負担と発注方式	適切な工期・労務費・運送費や設計・施工の品質を確保するため、発注・契約・調達のルールと費用負担の適正化を求める意見。	4
16	建築行政・審査	行政審査の縮小・民間機関への業務集約	建築確認等の審査実務や認定事務の一部を民間機関等へ移管・集約し、行政は許認可・違反对応等の役割に重点化する方向での検討を求める意見。（No.17・18と同じテーマについて、異なる方向性から寄せられた意見。）	5
17	建築行政・審査	行政による審査実務の維持・回復	行政職員の専門性と現場感覚を維持するため、行政による建築確認・検査等の実務機会を確保し、必要に応じて民間開放の枠組みも見直すことを求める意見。（No.16・18と同じテーマについて、異なる方向性から寄せられた意見。）	3
18	建築行政・審査	行政・民間の役割分担と特定行政庁制度の再設計	特定行政庁、建築主事、指定確認検査機関等の権限・責任・連携を整理し、地域の実情に応じた持続可能な建築審査制度への再設計を求める意見。（No.16・17と同じテーマについて、異なる制度設計を提案する意見。）	7
19	建築行政・審査	建築行政・確認検査の専門人材育成と広域連携	建築行政・確認検査の人材不足に対応するため、資格者の育成、組織を超えた人材融通、広域連携、専門的判断の支援体制の充実を求める意見。	6
20	建築行政・審査	審査・認定・検査手続の合理化	建築確認・認定・中間検査等について、重複審査の解消、事務負担の軽減、手続の迅速化、実態に即した審査方法への改善を求める意見。	10
21	建築行政・審査	法令体系・判断基準・行政運用の明確化	建築関係法令や告示の体系を整理し、制度の趣旨や判断基準を分かりやすくするとともに、行政庁間の運用の統一と予見可能性の向上を求める意見。	8

	分類	テーマ	ご意見の内容	件数
22	技術・DX	法令情報の公開・AI等による審査と相談の支援	建築関係法令・解説・審査情報のデジタル化とAI等の活用を通じて、法令相談や建築確認審査の精度・効率・利用しやすさの向上を求める意見。	6
23	技術・DX	BIM・建築情報や技能情報のデータ連携・普及支援	BIMや建築情報・技能情報の標準化と、設計・施工・維持管理等での共有・活用を進めるため、中小事業者を含めたデジタル化・教育・導入支援の充実を求める意見。	7
24	技術・DX	AI・ロボティクスによる省力化と技術活用	AI、ロボティクス、デジタル計測等の実務への導入を進め、設計・施工・維持管理の省力化や品質の安定につなげるための支援を求める意見。	6
25	技術・DX	新技術・材料の開発支援と評価・認定の柔軟化	新工法・材料の研究開発を促すとともに、安全性の検証を前提として評価・認定制度の迅速化・合理化を図り、実用化を後押しすることを求める意見。	6
26	木造・木材利用	建材・木造部材の製造・加工・供給体制の改善	建材の調達・物流費の軽減、大断面集成材やCLT等の加工・規格化、供給拠点の整備を通じて、木造建築のコストと生産性の改善を求める意見。	10
27	木造・木材利用	中高層木造の事業化・コスト低減・普及支援	中高層木造の普及に向け、実証・標準モデルや費用情報の整備、容積率等の誘導策、補助制度の充実を求める意見。	7
28	木造・木材利用	中高層木造の設計・施工支援と専門技能	中高層木造の設計・施工を支える技術資料、相談窓口、標準的な納まりの情報、専門人材の育成の充実を求める意見。	6
29	環境・省エネ	断熱・気密等の省エネ水準と評価方法の改善	建物の省エネルギー効果を適切に評価するため、断熱・気密・冷暖房負荷等の実態を反映した基準や指標の見直し・充実を求める意見。	4
30	環境・省エネ	省エネ規制の負担・画一性への懸念	省エネ・断熱規制の強化に伴う費用負担、建築計画の自由度、地域性や文化的価値への影響を懸念し、費用対効果や地域の実情に配慮した慎重な検討を求める意見。	4
31	環境・省エネ	気候風土・伝統構法・自然素材の評価	通風・庇・土壁など地域の気候風土に根差した設計や伝統構法・自然素材の特性が、現行の性能評価で十分に捉えられていないとの指摘と、評価・支援制度への反映を求める意見。	8
32	環境・省エネ	建物のライフサイクル全体での環境負荷評価	新築・改修・利用・解体までを含むLCCO ₂ やエンボディッドカーボンを評価し、長期利用や材料選択による環境負荷低減の効果を見える化することを求める意見。	4

	分類	テーマ	ご意見の内容	件数
33	環境・省エネ	既存建物の省エネ改修・設備更新の支援	既存建物の断熱改修や設備の高効率化を、安全性と費用負担に配慮しながら段階的に進められるよう、制度・補助の充実を求める意見。	4
34	環境・省エネ	再エネ・電化・自家消費・需給調整の評価	太陽光発電の自家消費、電化への備え、デマンドレスポンス等を適切に評価し、建物とエネルギー供給システムの連携を促すことを求める意見。	4
35	木造・木材利用	国産材・木材利用促進と森林資源の循環	木材・自然素材の利用を促すとともに、国産材の供給、持続的な林業、再造林、木材の価値の発信を一体的に進めることを求める意見。	9
36	環境・省エネ	建材・部材の再使用と解体時の資源循環	建材・部材の再使用やリサイクル、廃棄物削減を促し、将来の解体・更新まで見据えた資源循環の仕組みの整備を求める意見。	5
37	安全・品質	伝統構法・混構造等の構造安全評価の合理化	伝統構法、既存建物、混構造などの特性に応じて構造安全性を評価できるよう、基準・計算法・診断方法の充実や合理化を求める意見。	4
38	安全・品質	木造・木質化に係る防耐火・内装規制の合理化	必要な火災安全性を確保しながら、木材の現し、耐火時間、防火区画・内装等の仕様・性能規定を合理化し、木造・木質化の選択肢を広げることを求める意見。	3
39	安全・品質	避難・排煙・防火に関する一般規定の合理化	建築基準法と消防法の整合や最新の安全性検証を踏まえ、避難・排煙・防火区画等の規定の分かりやすさと合理性の向上を求める意見。	3
40	安全・品質	遮音・バリアフリー・防災など利用者の安全確保	遮音性能、避難時の要配慮者対応、災害時の一時居住・避難手段等について、利用者の立場に立った安全対策の充実を求める意見。	3
41	市街地	接道・道路幅員・境界に係る制度合理化	狭あい道路、接道、道路境界、位置指定道路等について、地域の実情を踏まえた合理的な基準と手続の整備を求める意見。	7
42	市街地	用途・高さ・容積率・地区計画の柔軟な運用	用途制限、建物の高さ・形態、容積率、地区計画等について、地域の実情に応じた運用・特例や地方の判断権限の見直しを求める意見。	6
43	市街地	緑地・空地活用と縮退に対応した土地利用	人口減少や気候変動に対応するため、緑地・雨水浸透・空地管理等を取り入れた市街地の再編や環境改善の推進を求める意見。	3

	分類	テーマ	ご意見の内容	件数
44	市街地	歴史的街並み・景観・公共建築の質	地域の建築文化や歴史的な街並み、公共建築の質が市街地の魅力に関わるとの指摘と、歴史的資産を活かした景観形成や公共建築の質の向上を求める意見。	3
45	市街地	住民参加・エリアマネジメント・施設連携	住民・事業者・行政の参加のもと、地域施設の広域的な配置や既存資産の段階的な改善を進める、市街地マネジメントの充実を求める意見。	5
46	横断・制度	補助・税制・評価・認定制度の分かりやすさ	補助金、税制優遇、評価・認定制度について、複雑さや手続負担を軽減し、利用者や事業の実情に合う仕組みへの改善を求める意見。	5
47	横断・制度	政策の方向性と建築行政への問題提起	建築政策や規制の見直しに当たっては、事業者・所有者・利用者の実態や費用負担を十分に把握し、政策の効果だけでなく副作用も検証する必要があるとの指摘。	2
48	横断・制度	個別の関連制度・事業運用の改善	建築に関連する労働・許可・行政手続等について、実務上の不整合や不明確な取扱いを見直し、負担を軽減することを求める意見。	4
参考	—	現行制度の個別規定等の見直し	建築基準法令における防耐火・避難・構造等の個別規定の合理化や、性能評価・認定手続の見直し、木造・木質化に関する具体的な制度改善を求める意見。 （ビジョン全体の方向性とは性格が異なるため、参考として整理。）	33